

Vol6 令和元年8月12日(月)

～地域との協働を推し進めます(学校外の皆様へ)～

立秋も過ぎ、まだまだ暑い日が続く中、台風が近づいていますが、暦の上では秋になりました。山北高校では、7月22日から8月23日までの夏季休業期間中に九つの運動部が校内、郊外で合宿・練習をしています。今回、インターハイに出場した弓道部は全国上位に入るなど大活躍をしてくれました。他の部活動も暑さに負けず、大きな実りを得て、秋の新人大会等で活躍してくれることを願っています。

さて、山北高校は山北町とともに「山北町の魅力化」に取り組むということで、今年度より文部科学省から「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(地域魅力化型)」に取り組む全国20校の内のひとつに指定されました。

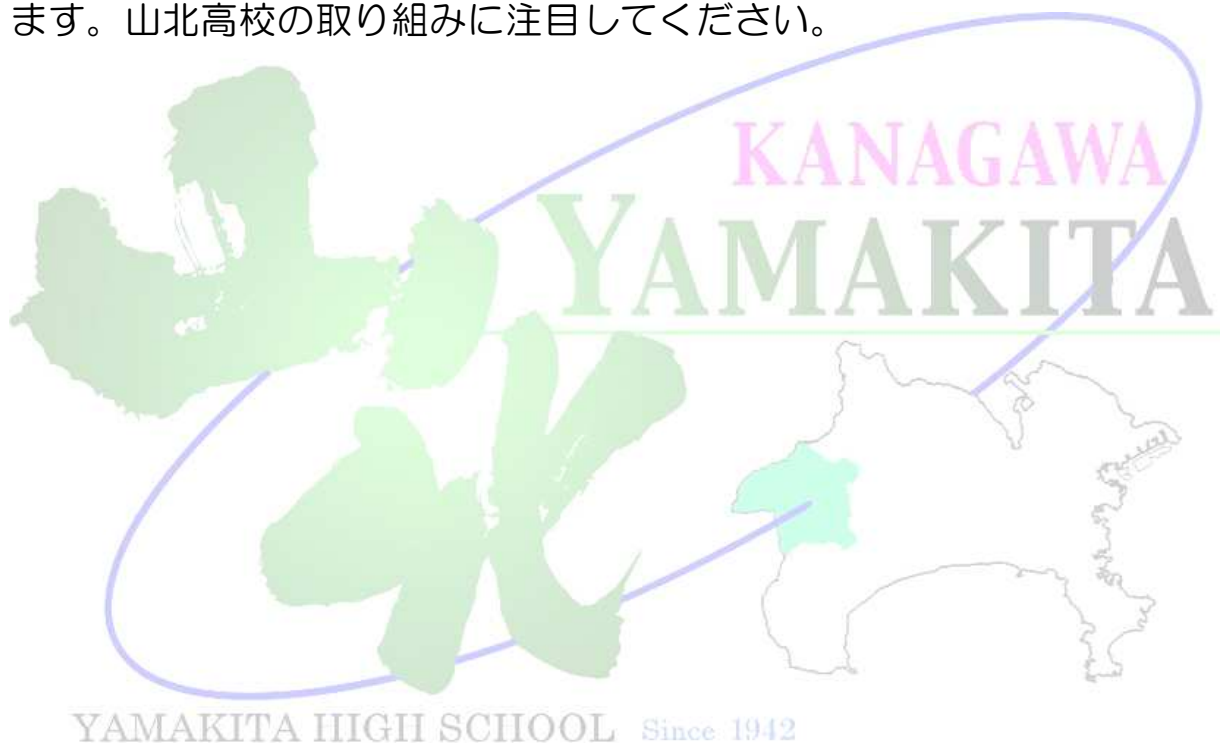
現状の山北町は、県内第3位の広大な面積を誇りますが、交通の便も便利とは言えない山々からなる町で、人口減少、少子高齢化が顕著であり、地域振興、地域防災も含めた課題が山積しています。今回の指定による取組みにより、山北高校が地域振興人材育成学校としての教育課程を開発し、こういった地域特有の課題解決に資する人材を作り、地域創生に寄与すること、そして町の課題解決に資することができれば、日本全体の課題解決に寄与できるものと考えています。

これから本校では、山北町と協働で地域企業、小中学校、NPO法人等とコンソーシアムを構築し、地域と深く関わる中で、地域の課題を発見・共有、そして理解し、解決方法を模索・開発する人材を育成していきます。また、その中で新しい価値を創造し、豊かな創造性を備えた人材をいかに育成するかを研究すること、地域・郷土に愛着を持ち、さらには将来の日本を地域から分厚く支え、様々な課題を自分の課題として捉えて解決に向かって行動を起こすことができる人材を育成することを学校の目標として取り組んでいきます。

着実に努力 凡事徹底 自学自習

なお、この取り組みは、文部科学省からの指定を受けたことにより、全国から注目されています。「未来探究」の研究授業を6月27日に行ったところ、非公開でありながら10名以上の方が参観にお越しくださいました。日本教育新聞からも取材を受け、7月8日号に掲載されました。また、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社により文部科学省のサイト「みらいの職員室」に紹介されます。

2学期以降もこの取り組みについて、様々な方法で情報発信して参ります。山北高校の取り組みに注目してください。



**着実に努力**    **凡事徹底**    **自学自習**